

運行管理者 無料追加コンテンツ

運行管理者 旅客編 暗記ノート05 (実務上の知識及び能力)

PDFデータの販売・再配布等は認めておりません。

公開されているPDFデータは事前に断りなく移動、修正、公開停止などの措置をとる場合があります。

本文の内容は2024年7月時点の法令によって制作しています。

(制作 2024.7)

運転者の健康管理

定期健康診断	・【1】年以内毎に1回（ただし、【深夜業務】に常時従事する者は【6】ヵ月毎に1回）
脳血管疾患	・定期健康診断では【容易に発見できない】
睡眠時無呼吸症候群（SAS）	・狭心症、心筋梗塞等の【合併症】を引き起こすおそれがある ⇒【スクリーニング】検査等を行い、早期治療を受けさせる
アルコール依存症	・回復しても再び依存症に陥るケースが【多い】 ⇒飲酒に関する指導を行う

交通事故等緊急時の措置

交通事故を起こした場合の措置	①事故の続発防止のため、安全な場所に自動車を止め、【エンジン切る】 ②負傷者等がいる場合、救急車の出動要請、救急車の到着まで【応急処置】を行う ③警察署に事故発生の【報告】をし、【指示】を受ける ④報告した警察官から事故現場を離れないよう指示があった場合は、事故現場を【離れて】はならない
踏切内で自動車が故障し動かなくなったときの措置	①【直ちに】列車の運転士などに【知らせ】、自動車を踏切の【外】に移動することに努める 〔運転士に知らせる方法〕 ◎警報機が備えられている踏切では、【踏切支障報知装置】（踏切非常ボタン）を活用する ◎踏切支障報知装置が備えられていない踏切では、【非常信号用具等】を使用、踏切内に自動車があることを知らせる
自動車の運転中に大地震が発生した場合の措置	①できるだけ安全な方法により道路の【左側】に自動車を停止させる ②自動車の停止後、カーラジオ等により地震情報や交通情報を聞き、その情報や周囲の状況に応じて【行動】する ③自動車を置いて避難するときは、できるだけ【道路外】の場所に移動する ④やむを得ず道路上に自動車を置いて避難するときは、 ◎道路の【左側】に寄せて駐車 ◎エンジンを【止め】、エンジンキーは【付けたまま】にする ◎窓を【閉め】、ドアはロック【しない】 ◎貴重品は【車内】に残さない
高速道路における事故又は故障時の措置	①急ブレーキをかけずに緩やかに減速し、【路肩】や【非常駐車帯】に停車 ②停車後は、【発炎筒】や【停止表示板】で後続車に事故車や故障車の存在を知らせる ③非常電話を使用し、【事故】・【故障状況】を通報する ④運転者と同乗者は通行車両に注意しながら車を降り、ガードレールの【外側】など安全な場所に【避難】する

交通事故防止

ドライブレコーダー	交通事故などにより自動車が一以上の【 衝撃 】を受けると、衝突前と後の前後【 10 】秒ほどの映像を自動的に保存する装置。
デジタル式 運行記録計	瞬間速度、運行距離、運行時間に加え、急発進、急ブレーキなどの広範な運行データを【 デジタル化 】して【 ハードディスク 】などに記録できる。各種運行データのデジタル化により、解析作業が素早く、正確に処理されるため、事故防止、運行管理、燃費管理、労務管理等の効率化にも有効。
適性診断	運転者の安全意識を向上させ、ヒューマンエラーによる事故の発生を【 未然に防止 】するための手段。
衝突被害 軽減ブレーキ	走行中、常にレーダーが前方の状況を監視し、前方の障害物等に衝突しそうになると音声などで警告が発せられ、衝突が避けられなくなった時点で【 自動的 】にブレーキを掛けて被害の【 軽減 】を図るシステム。
車線逸脱警報装置	走行車線を【 認識 】し、車線から逸脱した場合あるいは逸脱しそうになった場合には、運転者が【 車線中央 】に戻す操作をするよう警報が作動する。
車両安定性制御装置	【 横転 】の危険を、警報音などにより運転者に知らせるとともに、【 エンジン出力 】や【 ブレーキ力 】を制御し、【 横転 】の危険を軽減させる。
指差呼称	道路の信号や標識などを指で差し、その対象が持つ名称や状態を【 声に出して 】確認することをいう。安全確認のために重要な運転者の意識レベルを高めるなど交通事故防止対策の有効な手段の一つとして活用する。

視覚と視野と夜間等の運転

視野の範囲	自動車の速度が速くなるほど遠くを注視するため、【 近く 】が見えにくくなる。
運転席の高さ、 視野※	大型車の場合は車間距離に【 余裕がある 】ように感じる。 乗用車の場合は大型車の場合と反対に【 余裕がない 】ように感じる。
四輪輪から見た 二輪車	二輪車は、実際の速度より【 遅く 】感じたり、距離が実際より【 遠く 】感じたりする。
内輪差	ホイールベースの長い【 大型車 】ほど内輪差が【 大きい 】ため、左折時には歩行者や自転車等との事故に注意する。

※前方の自動車を大型車と乗用車から同じ距離でみた場合。

走行時に働く力

カーブ走行時の遠心力	重量及び速度が同じ場合 ・カーブの半径が【 2分の1 】⇒遠心力は【 2倍 】 ・カーブの半径が【 2倍 】⇒遠心力は【 2分の1倍 】
慣性力、遠心力、衝撃力	速度の二乗に【 比例 】
追越し	前車と速度差が【 小さい 】ほど、追越しに【 長い時間 】と【 距離 】が必要になる

自動車に生じる諸現象

ウエットスキッド現象	雨の降り始めの、タイヤと路面の間の滑りによる自動車の【 スリップ 】など。
ハイドロプレーニング現象	道路の水たまりなどの上を高速走行したときに、タイヤが水の上を【 滑走 】すること。
スタンディング・ウェーブ現象	タイヤの【 空気圧不足 】で【 高速 】走行したとき、タイヤに【 波打ち 】現象が生じ、【 セパレーション 】（剥離）や【 コード切れ 】等が発生すること
フェード現象	ブレーキ系統の過熱により摩擦力が【 減り 】、ブレーキの効きが悪くなること。
ベーパー・ロック現象	ブレーキ系統の過熱によりブレーキ液に【 気泡 】が生じ、ブレーキの効きが悪くなること。

計算問題のポイント

速度	$\frac{\text{【距離】}}{\text{【時間】}}$	時間	$\frac{\text{【距離】}}{\text{【速度】}}$	距離	$\text{【速度】} \times \text{【時間】}$
時間⇒分	$\text{【時間】} \times \text{【60分】}$	分⇒時間	$\frac{\text{【分】}}{\text{【60分】}}$	時速A km/h ⇒秒速 m/s	$\frac{A \times \text{【1000m】}}{\text{【3600s】}}$
停止距離	$\text{【空走距離】} + \text{【制動距離】}$			燃料消費率	$\frac{\text{【走行距離】}}{\text{【燃料消費量】}}$